

みる つくる がたる

千葉県立美術館報

VOL.9 NO.3

(通巻 37号)

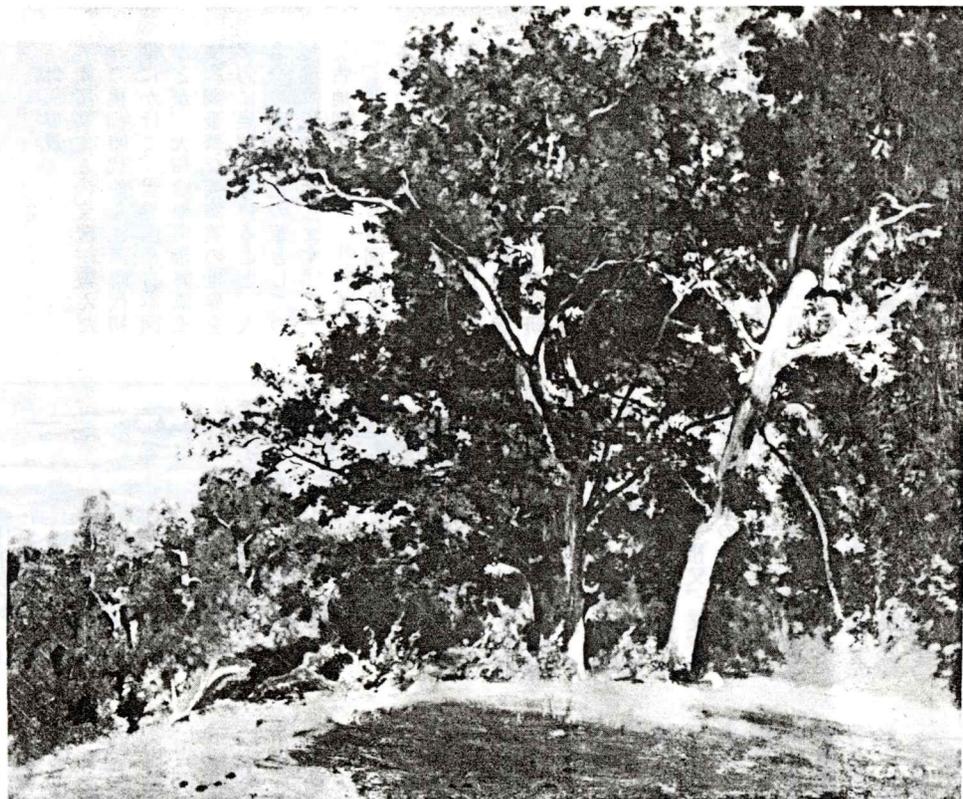
昭和57年9月6日発行

編集・発行人 高橋在久

〒260

千葉市中央港1丁目10番1号

☎0472-42-8 3 1 1(代表)



カラー「フォンテンブローの風景」

特別展

絵地図の魅力

―バーズ・アイの視点から―

九月十一日(土) ～ 十月十三日(火)

一、企画の意図

この特別展の企画に当たり、最初に考えましたことは、単に地図のいろいろだけでは終わらせたくないということでした。もちろんいろいろな絵地図の美しさ、おもしろさも見てみたいとは思いましたが、近代美術館として、古地図・

絵図などの絵地図の発達と絵画との共通性や相互の影響を見ることを目標としました。近代日本画と洋画の発達の基礎的な流れの一つに絵地図製作が大きな役割を果たしていたことを考える機会になれば誠に幸甚です。

二、展示構成

本展覧会は、主として近世以降の各種絵地図を中心に、地図と山水画・風景画との共通性を鳥瞰図法に焦点を当てて、表現方法の共通性を展覧します。また、地図が大衆化していくための複製化の過程で、浮世絵版画と蘭学研究による銅版画の発達があったことに注目し、その役割を再確認しようとしています。詳しくは会場で実際に見ていただくこととし

て、ここでは簡単に展示構成の各セクションの紹介をします。

〈地図屏風〉

南蛮文化との交流が盛んだった桃山時代から江戸時代初期にかけて、世界図や日本図などが、大和絵や南蛮屏風風に絢爛豪華な装飾美の世界を多彩に展開していること。大名や豪商の文化の華としての地図屏風を展示します。

〈古地図・絵図〉

「幕府撰正保日本図」など各種の地図の発達と普及を石川流宣「本朝図鑑綱目」や水戸藩の長久保赤水「改正日本輿地路程全図」など浮世絵版画の発達による出版と蘭学研究による銅版画の作品で、高橋景保らによる「新訂万国全図」らの仕事を展示。見どころは、今春重要文化財に指定された「五海道分間延絵図」の中から本県関係を含む三巻を出品。「シーボルトの日本図」も興味深いものです。

〈伊能図〉
そのシーボルトが原図とした「伊能忠敬作大日本沿海実測全図」(写)ほか、忠敬の絵画的な地図で重要文化財の「天橋立図」など四点も展示しています。先の「正保日本図」と

ともに日本が世界に誇る伊能図は、美しい地図としても有名です。

近代日本画の革新に大きな功績のあった横山大観と伊能忠敬につながる祖父、父、伯父など酒井家の地図教育の一端を示し、地図製作と絵画との関連を考えるコーナーです。

〈絵画・鳥瞰図・真景図〉
楳形蕙斎「日本一覽図」や橋本貞秀ら浮世絵師の鳥瞰図円山応挙の「淀川両岸図岸」など、実際に旅をし、風景をスケッチした各種真景図を中心に、鳥瞰図の美の世界を展



東都名所両国回向院境内図

観します。

〈地図の工芸品〉

趣味の地図として各種の工芸品に地図がデザインされていますが、ここでは地図皿を中心に展示します。

〈房総関係絵地図〉

関東地方及び安房、上総、下総の各国内をはいじめ、郡や村絵図、境内図等の各種を紹介いたします。

〈戦前の県内市町村鳥瞰図〉

松井天山作の二十五点による身近な県内の銅版鳥瞰図です。パノラマ風の町や村を現在の景観と比較してお楽しみください。

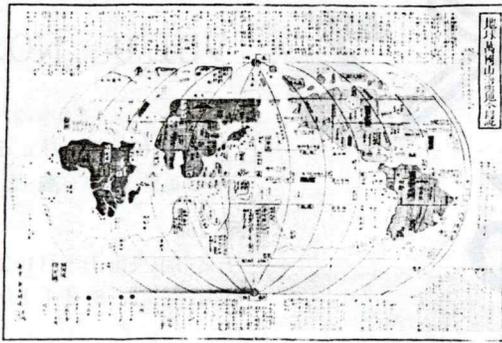
〈参考展示〉

コンピューターによる日本列島の鳥瞰図や現代の鳥瞰図のイラストマップも展示します。

三、おわりに

以上、概略をかけ足で述べましたが、約百三十点の出品作の一つ一つにそれぞれの表情があり魅力的です。美しい絵地図の世界に触れて、いろいろな角度からお楽しみいただければと念じています。

会期中の休館日は毎週月曜日ですが、十月十一日(月)は開館し、翌十二日(火)を休館します。



万国地球全図

北見萬壽山展覧会

第六回 千葉県 移動美術館

佐倉市立中央公民館

九月二十一日(火)〜十月三日(日)

柏市中央公民館

十月六日(水)〜十九日(火)

四三)は佐倉に生まれ、浅井忠の従弟にあたり、太平洋洋画会等で活躍した画家である。また浅井と共に京都高等工芸学校、関西美術院で後進の指導にあたった。

原 三郎(一九三三〜)は佐倉に在住し、光風会会員として活躍。日仏現代美術展大賞等受賞している。

香取秀真(一八七四〜一九五四)は印西町に生まれたが、佐倉の郡司家の養子となり、東京美術学校で鍍金を学ぶ。日本や中国の古典的工芸を踏まえて美術工芸の近代化を進め、また工芸界全般の向上に尽した。

津田信夫(一八七五〜一九四六)は佐倉に生まれ、東京美術学校で鍍金を学んだ。欧州の新傾向を取り入れた新味のある作品を発表し、香取同様美術工芸の地位高揚と発展のために寄与した。

浅井 忠(一八五八〜一九〇七)は江戸の佐倉藩邸内で生まれ、少年時代を佐倉の将門で過ごした。明治期を代表する画家で、風土に根ざした詩趣深い写実絵画を展開し、日本近代洋画の発展に大きな功績を残している。

都鳥英喜(一八七三〜一九〇七)は佐倉に生まれ、浅井忠の従弟にあたり、太平洋洋画会等で活躍した画家である。また浅井と共に京都高等工芸学校、関西美術院で後進の指導にあたった。

優秀賞、中原悌二郎優秀賞等受賞している。

富田文雄(一九三九〜)は柏に在住し、日本版画協会会員である。日本版画協会展をはじめ、クラコ国際版画展等国内外で発表を行っている。以上の如くであるが、これらの美術家を含めた全出品作家作品は次のとおりです。

〈日本画〉

富取風堂「群魚」 渡辺学「川口」 松尾敏男「原野」 高畑郁子「メステイソの女達」 後藤純男「山門雨後」

〈洋画〉

浅井忠「藁屋根」「農婦」 都鳥英喜「八瀬の秋」 石井柏亭「信州風景」 霜鳥之彦「緑のスウェーター」 黒田重太郎「女と小犬」 安井曾太郎「熱海附近」 梅原龍三



高畑郁子「メステイソの女達」

郎「竹窓読書図」 田中善之助「パリの女」 原勝郎「森(C)」 大久保作次郎「丘上の鐘楼」 林俊衛「岩和田海岸」 椿貞雄「横堀角次郎兄像」 中西利雄「曇り日の離宮と駅」 小堀進「レマン湖畔」 錢嘔「AZULEJOS」 原三郎「廃船」

〈版画〉 浜口陽三「ポプラ」26のサクランボ」 星裏一「王の木」 「陽(林)」 深沢幸雄「古い楽譜」 「掌の中の影」 池田満寿夫「Something」 シンテレラ」の広告」 富田文雄「森75」 20「接合77-25」

〈彫塑〉 大須賀力「倚る」 神野義衛「呻」 木村賢太郎「うごめくトルソーVI」 郡司和男「天使」

〈工芸〉 香取秀真「鳳凰文様花瓶」 「笑獅子香炉」 津田信夫「鳳翔薫炉」「北辺夜猫子」 宮之原謙「象嵌磁鉢」 土肥刀泉「釉彩両耳花瓶」 信田洋「装瓶(楼)」 「乳装銀瓶」 藤田喬平「節宮朱雀」 鈴木治平「条紋金彩花瓶」

〈書〉 浅見喜舟「櫛櫛」 大石隆子「待君」 鈴木方鶴「万昌」

講演会・語る会

本館では、特別展に併せてテーマを設定し、展覧会の内容をより深く理解するための美術講演会と、語り合いの中から作家や作品についての知識や理解を深めるための美術を語る会を開催しています。

今回は、特別展「絵地図の魅力」開催に伴い、多様な発展をした絵地図の魅力を楽しく観覧していただくため、左記のとおり行います。

美術講演会

演題 名所と絵地図
講師 浅倉治彦氏(国立国会図書館)

日時 九月二十六日(日) 午後二時より 無料

会場 千葉県立美術館県民アトリエ講堂

美術を語る会

話題 絵地図の世界―橋本貞秀をめぐって―

話題提供者 森田保氏(習志野市立大久保図書館長)

日時 十月九日(土) 午後二時より 無料

会場 千葉県立美術館県民アトリエ研修室

中西利雄展を

— 覚え書きよ— 終えて

六月中旬 真夏を思わせる暑い日、解説ボランティアの方々と中西夫人を訪ねる。応接間と中庭をはさんでアトリエが木間隠れにみえる。肝臓ガンを病んで歩を入れることのなかつたアトリエである。

七月二十一日 展示完了。最終点検をし、明日からの公開に備える。

朝九時開館。作品の状態、曲り、温湿度の具合等々の点検。午後四時十五分、間もなく閉館を告げる音楽が流れる。閉館。再び作品の点検。今日も無事一日が終る。

展示会の会期中繰り返す。



雨が強い。温湿度は調節しているものの気にかかり何度か見におり。異状はない。心なしか、いつもより画面がしつとりとうるんでみえる。快晴の日には味わえない美しさだ。varietyよく気候に微妙に反応する作品の保全に気を使いながらも、その時々にもみせる美しさの変化を味えるのも館員ならではのいえようか。

八月七日 美術を語る会「私の中西利雄観— 遺作の整理を通して—」 話題提供者 陶山侃氏。遺作を通してしか中西利雄を知らないといわれながらも、永い間その整理に携われた中から、またご自身の画家としての経験を混えて語られる口調の中から自づと中西利雄の水絵ひいては絵画に対する心が伝えられてくる。

八月十九日 最終日。長いようである。会場を閉じかけたのは早い。会場を閉じかけたところに男の方が一人。台湾からという。本を見ながら勉強しているのだが、ブリヂストン美術館でポスターを見て駆けつけたのだという。この会場だけ少々時間延長。

翌日から撤去。返却も無事終り、ひととき緊張の輪がほぐれる。

トピックス

美術館夏季大学終わる
第六回美術館夏季大学が、去る7月30日(金)7月31日(土)「県民アトリエ」講堂において開かれた。

本年は、水彩画を含めた洋画の歴史と見方・楽しみ方についてあつて行われ、本年も多数の参加者があつた。主な内容は次の通りであつた。

第一日
○水彩画について
講師 遠藤健郎氏

○具象絵画の歴史と見方
講師 田中 穰氏

第二日
○絵画を買う楽しみ
講師 飯田祐三氏

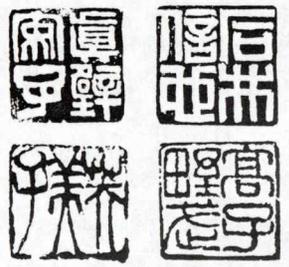
○抽象絵画の歴史と見方
講師 植村鷹千代氏

なお、本年は、昼休みの時間を活用して、CTCやTBSで放送された「浅井忠」近代洋画の歩み、「日本の抽象美術」等の16ミリ映画を上映したが好評であつた。

毎回好評の実技講座
みる・かたる・つくる事業の一環として、昭和五十一年

に開設された実技講座も、本年で七年目をむかえる。当初は、絵画実技講座、版画実技講座等の三講座、計七日間でスタートした実技講座も年々盛んとなり、五十五年三月、(県民アトリエ)の完成にもなつて、講座の種類・日数とも大幅に増加した。

本年も二十講座、九十日の実技講座を計画し、すでに八講座が終了した。毎回多数の応募者があるが、各講座とも定員があり、応募者全員の要望に応えることができないのが残念である。



てん刻入門講座による作品

ボランティアの活動
美術館友の会々員の解説ボランティアの方々による解説の会期中に行われた。申し出のあった方々に解説されたが、わかりやすい解説であつたと好評であつた。

伝言板

特別展入館料を改定

今年四月一日から来年三月三十一日まで本館で開催される特別展入館料が左記のとおりとなりました。

- 一 一般 五〇〇円(三〇〇円)
- 大・高生 三〇〇円(二〇〇円)
- 中・小生 二〇〇円(一〇〇円)
- (一)内は二〇名以上の団体制引料金。
- 県内学校団体高校生 七〇円
- 同小・中学校児童生徒 五〇円
- 特別展入館料を免除

本年度より当分の間、特別展覧に際し、次の該当者は入館料が免除されます。

- 1、身体障害者手帳配布対象者(但し、第一種身体障害者については、介護者も免除)
- 2、療育手帳配布対象者(介護者も免除)
- 3、千葉県発行「長寿のしるべ」配布対象者

但し、1、2、3の場合に入館の際に当該手帳の呈示を求めるものとします。

なお、当日手帳を持参していない場合でも、明らかに該当すると思われる場合には、同様の取り扱いをします。

新収蔵作品紹介 (VII)

昨年度の特別展「浅井忠と京都洋画壇の人々」は、浅井の晩年の京都時代における功績を見なおそうというものがあった。浅井が教授となった京都高等工芸学校や聖護院洋画研究所、関西美術院で学んだ人々の作品を多く展覧したが、そのうち数点が購入、寄贈された。ここにその一部を紹介する。

榊原一広・田中志奈子

●購入

榊原一広作「収穫」(油彩 四五・五×六〇・六cm)

●寄贈

榊原一広より

榊原一広作「南仏風景」(油彩 五三・〇×六五・〇cm)

田中志奈子作「デッサン(棒をもつ裸体)」(鉛筆、六一・七×四七・一cm) 「デッサン(裸体)」(鉛筆、六一・九×四七・七cm) 「デッサン(神官)」(鉛筆、六三・四×四八・〇cm) 「デッサン(大原女)」(鉛筆、六三・〇×四八・一cm) 「デッサン(箒をもつ女)」(鉛筆、六一・七×四八・三

cm) 「デッサン(裸婦)」(鉛筆、六一・六×四七・八cm)

榊原一広(一八八三—一九

四一)は聖護院洋画研究所、関西美術院で学び、浅井没後は大阪に移住、三越意匠部、高島屋図案部に勤める一方、関西美術会展に出品を続けた。また国枝金三らと精芸社を設立し展覧会を開催、関西洋画壇に功績を残した。「南仏風景」は大正九年から十一年にかけて渡仏した際の作品でサロン・ドートンヌに入選した。野外写生のしつかりとした基礎の上にフランスの光と色で仕上げた代表的作品である。

田中志奈子(一八八二—一九七一)は明治四十年榊原一



榊原一広「南仏風景」

広と結婚し、画業から遠ざかったが、残されたこれらの作品から、浅井の指導過程を知ることができるとともに、明治期の女性のデッサンの確かさに驚かされる。

長谷川良雄・加藤源之助

●寄贈

長谷川景子氏より

長谷川良雄作「高等工芸学校西裏通り」(水彩、二四・四×三四・八cm) 「晩秋」(水彩、二八・〇×三九・三cm) 「下鴨」(水彩、三五・四×二五・六cm)

黒田暢氏より
加藤源之助作「秋の山(大和初瀬村)」(水彩、四七・五×三一・一cm)

京都高等工芸学校で学んだ長谷川良雄(一八八四—一九四二)と聖護院洋画研究所、関西美術院で学んだ加藤源之助(一八八〇—一九四六)はともに画壇の交渉をあまりもたなかったため、その名を知る人は少ないが、浅井忠の水彩画の画風をよく受け継ぎ、現在では高い評価を受けている。「高等工芸学校西裏通り」は第六回関西美術会展に出品



長谷川良雄「晩秋」

された。色をあまりつかわず緑、茶、紫の大まかな筆触で地面や遠方の家々を描き、濃淡によって遠近感をだしひろがりがある。「晩秋」は長谷川の特徴がよくでている作品である。水をたっぷりとふくませ紙質をうまく生かした柔かい色調で空や山を描き、その上に木々や地面の明暗をこまかく描写している。輪郭をこまけず筆致はすばやい。

加藤源之助の「秋の山(大和初瀬村)」は山を背景に木や家々の前景が描かれている。個々をかたまりとしてとらえながらも、細部にわたり繊細な線が生きた作品である。これは第十回関西美術会展に出品されているが、裏には自筆で「大和初瀬 四十一年十一月新井君同伴」とある。

表紙作家の紹介

ジャン＝バティスト・カミーユ・コロ

(一七九六—一八七五)

十八世紀のフランスでは、風景画、静物画はアカデミーの序列では低い地位にあったが、一八一七年ローマ賞の一部門として「歴史風景画」と名づけられるジャンルが登場することにより、パリ近郊フォンテンブローの森バルビゾン村を中心として若い世代の画家たちの探求が始まった。

その一人にコロがいた。コロは当初より再三イタリアに学び「ローマ人コロ」と呼ばれたほど堅固な構成感覚と明晰なウイジョンをもち、着実な観察と古典主義的な格調とロマン派のな情を併せ備えている。

表紙の作品は、コロの壮年期のもので、イタリア風景画の影響を残しながらも、詩的な情感を漂わせた主観的写真主義の立場を示している。

◎第二期日本画入門講座
 期日 10月16・17、19・20・21・22日
 講師 渡辺 学氏

◎第三期デッサン入門講座
 期日 11月6・7日
 講師 天野三郎氏

◎陶芸入門講座
 期日 11月9・10・11・12、12月9、16日
 講師 羽二生隆宏氏

◎てん刻入門講座
 期日 12月4・5日
 講師 霊園鴻甫氏

◎七宝焼入門講座
 期日 11月20・21日
 講師 長南光男氏

◎彫塑入門講座
 期日 9月28・29日、10月7・8、12・13・14日

◎第二期洋画入門講座
 期日 10月30・31日、11月27・28日、12月11・12日
 講師 青木三四郎氏

◎第三期洋画研修講座
 期日 11月16・17、23・24、30日、12月1日
 講師 根岸茂行氏

◎書芸入門講座
 期日 11月16・17、23・24、30日、12月1日
 講師 篠崎輝夫氏

期日 10月27・28・29日
 11月10・11・12日
 講師 福田襄州氏

◎各種実技講座の応募方法
 往復はがきに、受講希望講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、美術館普及班あてお申し込みください。

◎第一期美術講演会
 日時 9月26日(日) 午後2時～3時半
 演題 「名所と絵地図」
 講師 浅倉治彦氏(国立国会図書館)

◎第四回美術を語る会
 日時 10月9日(土) 午後2時～3時半
 主題 「絵地図の世界―橋本貞秀をめぐって―」
 話題提供者 森田 保氏
 (習志野市立大久保図書館長)

ごあんない

◎団体展(9月～12月)
 ・白扇書道会展・書道芸術院南関東展
 9月7日～12日

・日本春秋書院千葉書道連盟展
 9月14日～19日

・新構造千葉支部展
 9月14日～19日

・文化書道千葉県連合会公募展覧会
 9月14日～19日

・千葉82展
 9月21日～26日

・ファンシー展
 9月28日～10月3日

・千葉県勤労者美術展
 9月28日～10月3日

・二科会写真部千葉支部展
 9月28日～10月3日

・千葉デザイン展
 9月28日～10月3日

・千葉市小・中・養護学校児童生徒作品総合展覧会
 10月5日～13日

・第34回県展
 10月23日～11月14日

・千葉県高等学校総合芸術祭(書道・美術・工芸展)
 11月18日～28日

・芸術祭参加写真展
 11月18日～28日

・屈折の養分
 11月30日～12月5日

・こども県展
 12月7日～19日

来館者

7月 県立図書館長他十名
 18日 法務省人権擁護局長鈴木氏他二名、中西富江氏、呉市立美術館長遠藤健郎氏、田中稜氏
 22日 飯田祐三氏、植村鷹千代氏

8月 陶山侃氏、中西富江氏、深沢幸雄氏
 7日 田中稜氏
 14日 土肥満氏他一名
 16日 羽生智樹氏
 19日 国立教育会館長井内慶次郎氏、大臣官房総務課佐藤孝安氏、国立科学博物館久野秀嗣氏、県教育次長

7月 県博協役員会
 16日 第一期洋画入門講座終了
 18日 中西利雄展始まる(8月19日まで)
 22日 美術館・博物館館長会議

8月 座(23日まで)
 30日 関東地区博物館協会第一回調査研究委員会第六回美術館夏季大学(31日まで)

7月 第四回美術を語る会
 19日 版画入門講座始まる。第二期デッサン入門講座(20日まで)

21日 千葉県社会教育協会総会・研修会
 25日 美術館・博物館学芸課長会議(総南博物館)第一期てん刻入門講座(27日まで)

26日 第二期洋画研修講座始まる
 28日 県博協役員会

31日 防災訓練
 9月 1日 県博協第一回研究会

臨時休館のお知らせ
 ○昭和57年10月15日から10月22日まで
 ○昭和57年11月15日から11月17日まで
 展示替え作業のため、右記のとおり臨時休館します。

日誌抄

7月 県博協役員会
 16日 第一期洋画入門講座終了
 18日 中西利雄展始まる(8月19日まで)
 22日 美術館・博物館館長会議

8月 座(23日まで)
 30日 関東地区博物館協会第一回調査研究委員会第六回美術館夏季大学(31日まで)

7月 第四回美術を語る会
 19日 版画入門講座始まる。第二期デッサン入門講座(20日まで)

21日 千葉県社会教育協会総会・研修会
 25日 美術館・博物館学芸課長会議(総南博物館)第一期てん刻入門講座(27日まで)

26日 第二期洋画研修講座始まる
 28日 県博協役員会

31日 防災訓練
 9月 1日 県博協第一回研究会